

(再評価)

様式-1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道56号 中村宿毛道路
事業主体	四国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性 ■ 便益が費用を上回っている	全 体:費用便益比(3便益)(B/C)=1.1 (経済的純現在価値(B-C)=226億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.5%) 残事業:費用便益比(3便益)(B/C)=2.8 (経済的純現在価値(B-C)=187億円、経済的内部収益率(EIRR)=55.4%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑な モビリティ の確保	● 現道等の年間時間損失及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失削減時間:2,303千人・時間/年(8,111千人・時間/年⇒5,807千人・時間/年) 渋滞損失削減率:28.4% 区間b(当該区間/並行区間)について:(一般国道56号) 渋滞損失削減時間:1,550千人・時間/年(2,012千人・時間/年⇒461千人・時間/年) 渋滞損失削減率:77.1%
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	並行区間の混雑時旅行速度 17.2km/h⇒23.0km/h(宿毛市平田町 下り方向)
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	高知西南交通(株) 【路線バス】平日:7便/日、休日:5便/日、 【高速バス】しまんとライナー(高知線):1便/日、しまんとブルーライナー(京都線):1便/日、 しまんとエクスプレス(東京線):期間運行(お盆・年末年始)
	■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	中村駅(特急停車駅)へのアクセス向上 【宿毛市~中村駅】約12分短縮(37分⇒25分)
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	高知龍馬空港(第二種空港)へのアクセス向上 【宿毛市~高知龍馬空港】約12分短縮(160分⇒148分)
物流効率化 の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	宿毛湾港(重要港湾)へのアクセス向上 【四万十市~宿毛湾港】約12分短縮(49分⇒37分)
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	農産物の出荷における荷傷み軽減による高品質・ブランド化 ・宿毛市は文旦の県内シェア2位(16.9%:H29)
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標	指標チェックの根拠		
1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり <input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる		
	国土・地域ネットワークの構築	<input checked="" type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	四国横断自動車道に並行する一般国道自動車専用道路に位置づけられている四国8の宇ネットワークの一部を形成  高知市（中央地方生活圏中心都市）～宿毛市（宿毛二次生活圏中心都市）間を連絡するルートの一部を形成  四万十市（幡多地方生活圏中心都市）～宇和島市（宇和島地区地方生活圏中心都市）のアクセス向上【四万十市～宇和島市】約12分短縮（117分⇒105分）  四万十市（幡多地方生活圏中心都市）～宿毛市のアクセス向上【四万十市～宿毛市】約12分短縮（41分⇒29分）	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	高知西南中核工業団地、宿毛湾港工業流通団地  四万十川、足摺海底館、宿毛湾のだるま夕日等へのアクセス向上、周遊ルートの形成【四万十川（四万十市）～だるま夕日（宿毛市）】約12分短縮（41分⇒29分）	
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての当てはまる区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
		無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標	指標チェックの根拠
2. 暮らし	安全で安心できる暮らしの確保 ■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	二次医療施設（幡多けんみん病院）へのアクセス向上 【四万十市～幡多けんみん病院】約4分短縮（26分⇒22分） 【宿毛市～幡多けんみん病院】約2分短縮（16分⇒14分）
3. 安全	安全な生活環境の確保 ■ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる □ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される 災害への備え □ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する ■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり ■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する ■ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合） □ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される □ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する □ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する □ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する □ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	39-K02802-000：598.5件/億台キロ 中村宿毛道路（既供用区間）および並行する一般国道56号は、高知県緊急輸送道路ネットワーク計画において、第一次緊急輸送道路に位置づけられている 国道56号が冠水等により通行止めになった場合の代替路を形成 四国横断自動車道の代替路線として機能する
4. 環境	地球環境の保全 ● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 生活環境の改善・保全 ● 現道等における自動車からのNO2排出削減率 ● 現道等における自動車からのSPM排出削減率 □ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある □ その他、環境や景観上の効果が期待される	CO2排出量の削減が見込まれる ・CO2排出削減量：6.6千t-CO2/年、CO2排出削減率：2.9% NO2排出量の削減が見込まれる ・NO2排出削減量：33.4t-NO2/年、NO2排出削減率：77.0% SPM排出量の削減が見込まれる ・SPM排出削減量：1.9t-SPM/年、SPM排出削減率：77.4%
5. その他	他のプロジェクトとの関係 □ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている □ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり □ 他機関との連携プログラムに位置づけられている □ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道56号	中村宿毛道路	L=23.2km	高規格道路	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
8,400~23,400	4,2	四国地方整備局

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成30年度		
単純合計	1,268億円	189億円	1,457億円
うち残事業分	69億円	127億円	197億円
基準年における 現在価値 (C)	2,140億円	123億円	2,263億円
うち残事業分	56億円	48億円	104億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成30年度			
供用年	平成15年度(暫定)、平成21年度(暫定)、平成22年度(暫定)、 平成32年度(暫定)、平成42年度(完成)			
単年便益 (初年便益)	25億円	3.7億円	0.92億円	29億円
基準年における 現在価値 (B)	2,190億円	229億円	69億円	2,488億円
うち残事業分	264億円	18億円	10億円	291億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	1.1
経済的純現在価値 (B-C)	226億円
経済的内部収益率 (EIRR)	4.5%
費用便益比 (残事業)	2.8
経済的純現在価値 (残事業)	187億円
経済的内部収益率 (残事業)	55.4%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	8,400~23,400	±10%	0.9~1.4
事業費	69億円	±10%	1.1~1.1
事業期間	11年	±20%	1.1~1.1

(残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	8,400~23,400	±10%	2.4~3.2
事業費	69億円	±10%	2.7~3.0
事業期間	11年	±20%	2.8~2.8

交通状況の変化

【事業全体】

様式-3①

事業名：中村宿毛道路

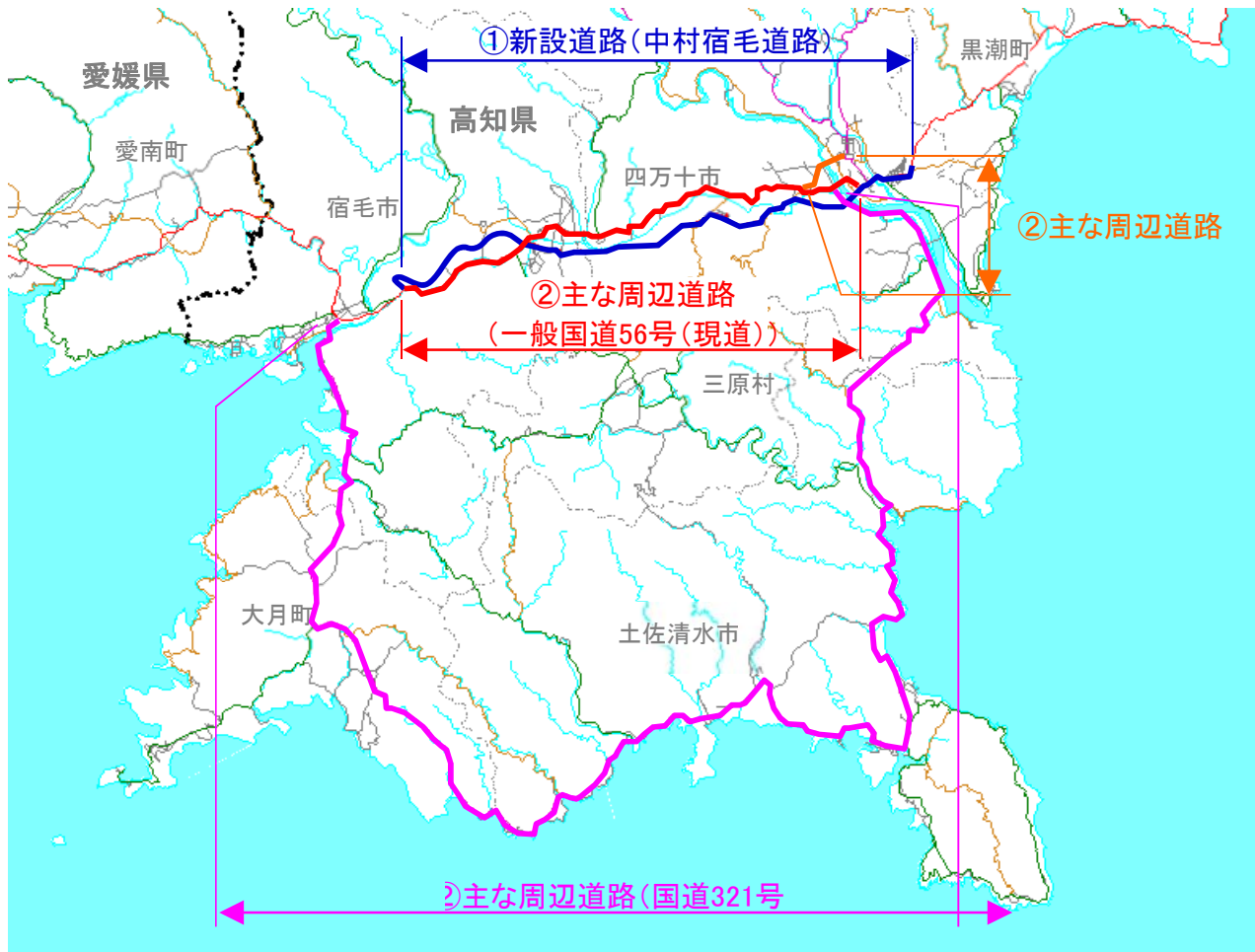
(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [中村宿毛道路]  :23.2km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	21,312	12,110	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	8	19	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	32	42.86	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	一般国道 56号  :20.9km	交通量	[台/日]	13,266	4,302
		走行時間	[分]	44	37
		走行時間費用	[億円/年]	105.25	29.43
	一般国道 321号  :80.5km	交通量	[台/日]	4,151	3,908
		走行時間	[分]	115	114
		走行時間費用	[億円/年]	91.60	86.00
	中村下ノ 加江線  :2.4km	交通量	[台/日]	5,952	4,340
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	5.70	4.29
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 :1348.2km	走行時間費用	[億円/年]	525.06	525.31	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,475.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	759.15	687.89	71.26

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

【残事業】

様式-3①

事業名：中村宿毛道路

(推計時点 H42年)

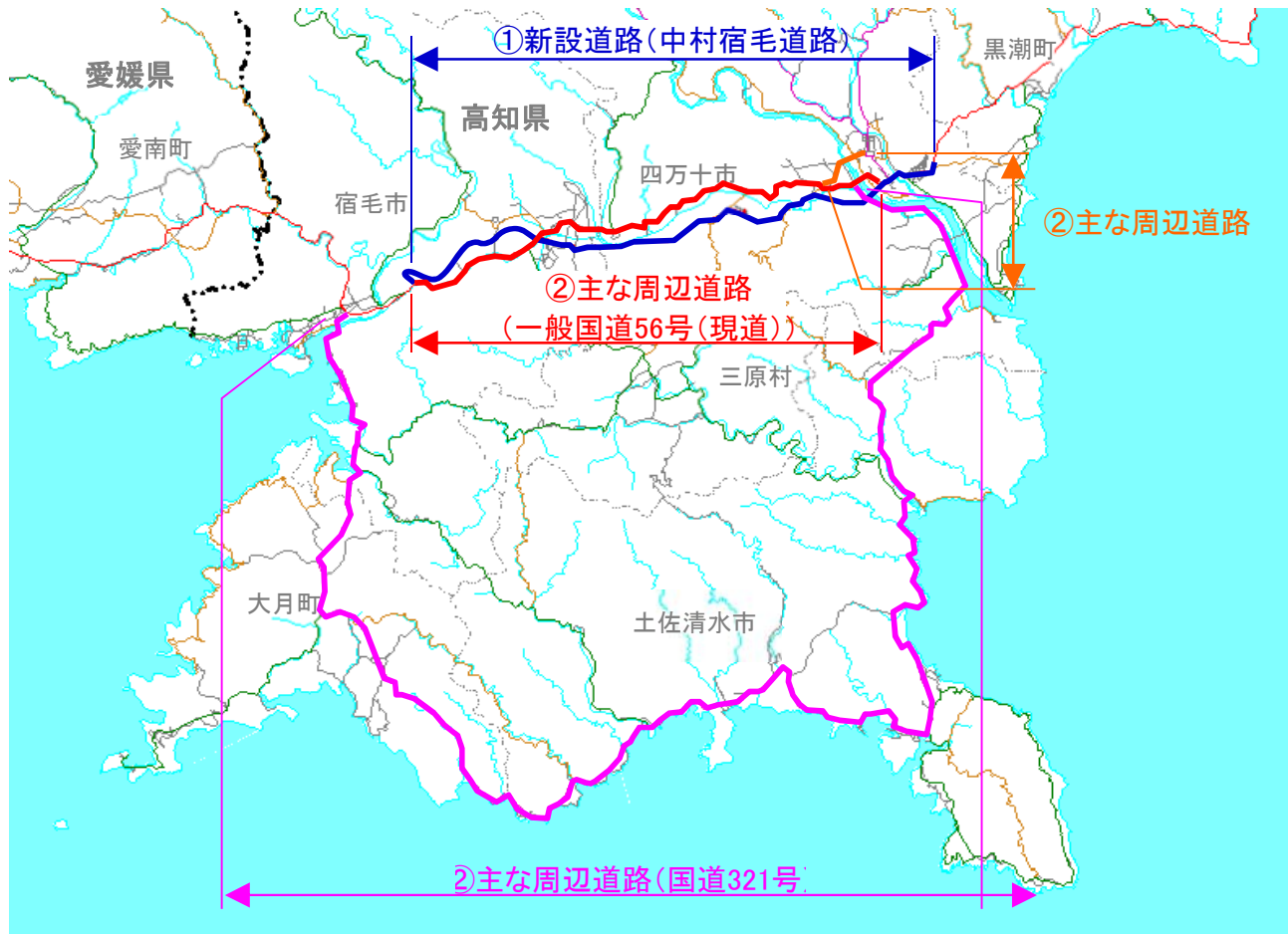
			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [中村宿毛道路]  :23.2km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	13,294	12,110	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	3	19	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	36	42.86	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	一般国道 56号  :20.9km	交通量	[台/日]	7,014	4,302
		走行時間	[分]	39	37
		走行時間費用	[億円/年]	50.93	29.43
	一般国道 321号  :80.5km	交通量	[台/日]	3,960	3,908
		走行時間	[分]	115	114
		走行時間費用	[億円/年]	87.15	86.00
	中村下ノ 加江線  :2.4km	交通量	[台/日]	4,763	4,340
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	4.66	4.29
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 :1348.2km	走行時間費用	[億円/年]	524.34	525.31	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,475.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	702.96	687.89	15.07

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。



(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



# 費用便益分析の条件

事業名: 中村宿毛道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成30年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 <input checked="" type="checkbox"/> (H42) 複数時点での推計 <input type="checkbox"/>	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計 <input checked="" type="checkbox"/>	
		整備の有無のいずれかのみ推計 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
		いずれかのみ推計の場合   いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
		有の場合のみ   考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他( )	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 <input checked="" type="checkbox"/>		
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線交通容量(Qmin~Qmax)内の路線等が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度 <input type="checkbox"/> 採用理由を記載		
	その他( ) <input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	( ) %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	( ) 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
とり止め交通を考慮する	<input type="checkbox"/>			
とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載				
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数	( ) 日	
		採用した冬期日数の考え方を記載		
冬期の走行速度と交通容量の関係		設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
算出根拠を添付すること				
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
算出根拠を添付すること				
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				



費用の現在価値算定表

箇所名：中村宿毛道路

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費 (億円)			維持管理費 (億円)	
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	単価(億円)	
							0.23	23.2
				単価(億円)	現在価値	単価(億円)	現在価値	
-25年目	S 53	4.8010	90.0	1.00	5.48			
-24年目	S 54	4.6164	92.4	2.00	10.27			
-23年目	S 55	4.4388	98.2	1.00	4.64			
-22年目	S 56	4.2681	100.7	1.00	4.36			
-21年目	S 57	4.1039	101.9	1.00	4.14			
-20年目	S 58	3.9461	102.9	2.00	7.88			
-19年目	S 59	3.7943	105.0	2.00	7.43			
-18年目	S 60	3.6484	105.7	0.00	0.00			
-17年目	S 61	3.5081	107.6	0.00	0.00			
-16年目	S 62	3.3731	107.3	0.00	0.00			
-15年目	S 63	3.2434	107.9	3.00	9.27			
-14年目	H 1	3.1187	110.8	4.85	14.05			
-13年目	H 2	2.9987	113.3	17.64	48.00			
-12年目	H 3	2.8834	116.0	65.15	166.50			
-11年目	H 4	2.7725	117.6	1.94	4.71			
-10年目	H 5	2.6658	117.9	2.91	6.77			
-9年目	H 6	2.5633	117.8	30.12	67.38			
-8年目	H 7	2.4647	117.1	18.58	40.19			
-7年目	H 8	2.3699	116.6	20.52	42.87			
-6年目	H 9	2.2788	117.5	28.71	57.24			
-5年目	H 10	2.1911	116.9	55.41	106.77			
-4年目	H 11	2.1068	115.2	84.84	159.50			
-3年目	H 12	2.0258	113.8	72.57	132.81			
-2年目	H 13	1.9479	112.4	86.86	154.74			
-1年目	H 14	1.8730	110.5	87.81	153.01			
部分供用開始年次	H 15	1.8009	109.0	70.59	119.90	0.96	1.64	
1年目	H 16	1.7317	107.9	63.99	105.58	0.96	1.59	
2年目	H 17	1.6651	106.7	79.21	127.08	0.96	1.54	
3年目	H 18	1.6010	105.9	87.72	136.33	0.96	1.50	
4年目	H 19	1.5395	105.0	72.46	109.21	0.96	1.45	
5年目	H 20	1.4802	104.4	45.79	66.74	0.96	1.40	
部分供用開始年次	H 21	1.4233	103.0	22.90	32.52	1.69	2.41	
部分供用開始年次	H 22	1.3686	101.3	20.98	29.14	2.65	3.68	
8年目	H 23	1.3159	99.8	9.92	13.45	2.65	3.59	
9年目	H 24	1.2653	99.0	13.23	17.38	2.65	3.48	
10年目	H 25	1.2167	99.0	20.43	25.81	2.65	3.35	
11年目	H 26	1.1699	101.5	20.02	23.72	2.65	3.14	
12年目	H 27	1.1249	103.0	14.36	16.12	2.65	2.97	
13年目	H 28	1.0816	102.8	19.81	21.42	2.65	2.86	
14年目	H 29	1.0400	102.8	23.56	24.50	2.65	2.75	
15年目	H 30	1.0000	102.8	22.69	22.69	2.65	2.65	
16年目	H 31	0.9615	102.8	15.10	14.52	2.65	2.55	
暫定供用開始年次	H 32	0.9246	102.8	1.38	1.28	4.14	3.83	
18年目	H 33	0.8890	102.8	2.31	2.06	4.14	3.68	
19年目	H 34	0.8548	102.8	7.22	6.17	4.14	3.54	
20年目	H 35	0.8219	102.8	8.33	6.85	4.14	3.40	
21年目	H 36	0.7903	102.8	5.56	4.39	4.14	3.27	
22年目	H 37	0.7599	102.8	5.56	4.22	4.14	3.15	
23年目	H 38	0.7307	102.8	6.48	4.74	4.14	3.02	
24年目	H 39	0.7026	102.8	7.41	5.20	4.14	2.91	
25年目	H 40	0.6756	102.8	7.41	5.00	4.14	2.80	
26年目	H 41	0.6496	102.8	2.62	1.70	4.14	2.69	
完成供用開始年次	H 42	0.6246	102.8			4.94	3.09	
28年目	H 43	0.6006	102.8			4.94	2.97	
29年目	H 44	0.5775	102.8			4.94	2.86	
30年目	H 45	0.5553	102.8			4.94	2.75	
31年目	H 46	0.5339	102.8			4.94	2.64	
32年目	H 47	0.5134	102.8			4.94	2.54	
33年目	H 48	0.4936	102.8			4.94	2.44	
34年目	H 49	0.4746	102.8			4.94	2.35	
35年目	H 50	0.4564	102.8			4.94	2.26	
36年目	H 51	0.4388	102.8			4.94	2.17	
37年目	H 52	0.4220	102.8			4.94	2.09	
38年目	H 53	0.4057	102.8			4.94	2.01	
39年目	H 54	0.3901	102.8			4.94	1.93	
40年目	H 55	0.3751	102.8			4.94	1.85	
41年目	H 56	0.3607	102.8			4.94	1.78	
42年目	H 57	0.3468	102.8			4.94	1.71	
43年目	H 58	0.3335	102.8			4.94	1.65	
44年目	H 59	0.3207	102.8			4.94	1.59	
45年目	H 60	0.3083	102.8			4.94	1.52	
46年目	H 61	0.2965	102.8			4.94	1.47	
47年目	H 62	0.2851	102.8			4.94	1.41	
48年目	H 63	0.2741	102.8			4.94	1.36	
49年目	H 64	0.2636	102.8	-59.82	-15.77	4.94	1.30	
合計				1,208.13	2,139.96	189.06	122.58	
単純事業費計				1,267.95		189.06		

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表

箇所名：中村宿毛道路

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費 (億円)		維持管理費 (億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-1年目	H 31	0.9615	102.8	15.10	14.52		
暫定供用開始年次	H 32	0.9246	102.8	1.38	1.28	1.50	1.39
1年目	H 33	0.8890	102.8	2.31	2.06	1.50	1.33
2年目	H 34	0.8548	102.8	7.22	6.17	1.50	1.28
3年目	H 35	0.8219	102.8	8.33	6.85	1.50	1.23
4年目	H 36	0.7903	102.8	5.56	4.39	1.50	1.19
5年目	H 37	0.7599	102.8	5.56	4.22	1.50	1.14
6年目	H 38	0.7307	102.8	6.48	4.74	1.50	1.10
7年目	H 39	0.7026	102.8	7.41	5.20	1.50	1.05
8年目	H 40	0.6756	102.8	7.41	5.00	1.50	1.01
9年目	H 41	0.6496	102.8	2.62	1.70	1.50	0.97
完成供用開始年次	H 42	0.6246	102.8			2.81	1.75
11年目	H 43	0.6006	102.8			2.81	1.69
12年目	H 44	0.5775	102.8			2.81	1.62
13年目	H 45	0.5553	102.8			2.81	1.56
14年目	H 46	0.5339	102.8			2.81	1.50
15年目	H 47	0.5134	102.8			2.81	1.44
16年目	H 48	0.4936	102.8			2.81	1.38
17年目	H 49	0.4746	102.8			2.81	1.33
18年目	H 50	0.4564	102.8			2.81	1.28
19年目	H 51	0.4388	102.8			2.81	1.23
20年目	H 52	0.4220	102.8			2.81	1.18
21年目	H 53	0.4057	102.8			2.81	1.14
22年目	H 54	0.3901	102.8			2.81	1.09
23年目	H 55	0.3751	102.8			2.81	1.05
24年目	H 56	0.3607	102.8			2.81	1.01
25年目	H 57	0.3468	102.8			2.81	0.97
26年目	H 58	0.3335	102.8			2.81	0.94
27年目	H 59	0.3207	102.8			2.81	0.90
28年目	H 60	0.3083	102.8			2.81	0.86
29年目	H 61	0.2965	102.8			2.81	0.83
30年目	H 62	0.2851	102.8			2.81	0.80
31年目	H 63	0.2741	102.8			2.81	0.77
32年目	H 64	0.2636	102.8			2.81	0.74
33年目	H 65	0.2534	102.8			2.81	0.71
34年目	H 66	0.2437	102.8			2.81	0.68
35年目	H 67	0.2343	102.8			2.81	0.66
36年目	H 68	0.2253	102.8			2.81	0.63
37年目	H 69	0.2166	102.8			2.81	0.61
38年目	H 70	0.2083	102.8			2.81	0.58
39年目	H 71	0.2003	102.8			2.81	0.56
40年目	H 72	0.1926	102.8			2.81	0.54
41年目	H 73	0.1852	102.8			2.81	0.52
42年目	H 74	0.1780	102.8			2.81	0.50
43年目	H 75	0.1712	102.8			2.81	0.48
44年目	H 76	0.1646	102.8			2.81	0.46
45年目	H 77	0.1583	102.8			2.81	0.44
46年目	H 78	0.1522	102.8			2.81	0.43
47年目	H 79	0.1463	102.8			2.81	0.41
48年目	H 80	0.1407	102.8			2.81	0.39
49年目	H 81	0.1353	102.8	0.00	0.00	2.81	0.38
合計				69.38	56.13	127.22	47.73
単純事業費計				69.38		127.22	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。



